

里地・里山 だより 活動報告号 2023 春

発行
里山フォーラム in 麻生
川崎市麻生区万福寺 1-5-2
麻生市民館 気付け

- もくじ P1 第17回わたしのまちのホッとする風景写真展
- P2 P3 “2023 里山フォーラム in 麻生”
- P4 P5 あさお里山こどもクラブ
- P6 里地里山ナチュラルリスト養成講座
- P7 P8 里地・里山カフェ塾（からむし講座、万福寺人參）

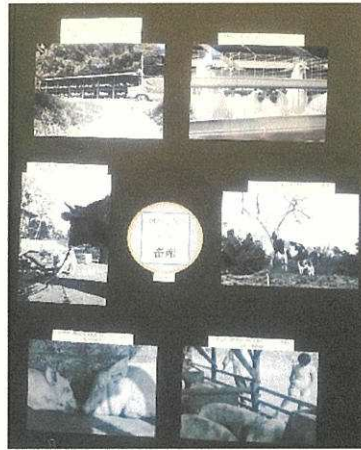
第17回 わたしのまちのホッとする風景写真展（今編、昔編）

寄せられた150点もの作品からは、足もとの自然に誘われ、まちを歩いて見て出会った一瞬が映し出されていました。昔の写真も大変多く提供され、麻生区の里山の歴史が蘇って来るようでした。麻生市民館のウォールギャラリーで2月13日～3月7日まで展示しました。

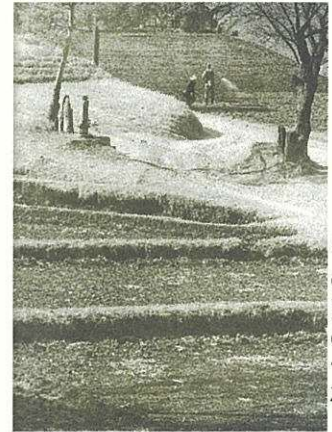
《受賞作品の紹介》（本写真展はコンテストではありませんが賞を設けています。）



麻生区長賞 白井敏彦
「中庭の春」 区役所



麻生市民館長賞 鈴木秀雄
「1960年代の麻生の畜産シリーズ」



里山フォーラム賞 菅原陽子・節生
「修廣寺 今昔シリーズ10点」
その内の一枚



特別エッセイ賞 宮城すみ子
「幻の東林寺堰」「白根耕地」と呼ばれた地の65年間」



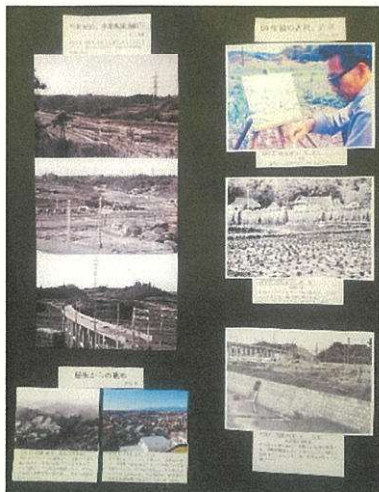
ホッと賞 鈴木孜「水鏡」



ホッと賞 真下智彦
「里山の実り」



早野里山ボランティア
「協奏曲のような作業」



特別賞 ■井上康輔「半世紀前、多摩線開通前年 3点」 ■市嶋新「勝坂からの眺め 昔・今」 ■荻久保嘉章「50年前の古沢 片平3点」



ホッと賞

荒木英子
「弘法松の夢の跡」



伊藤武夫
「紅葉の下 散歩」

2023 里山フォーラム in 麻生



3月18日(土)

麻生市民館
大会議室

来て・見て・語ろう！ 足元の自然とかがわる 暮らし
-集まり、知って、つながる、豊かな世界-

コロナの第8波が収まった3月にフォーラムを開催しました。

みどりを守り、環境を守り、いのちをはぐくもうという人々のあつい思いが大会議室いっぱいになり、充実した時間と場になりました。



プログラム

- 9:00 団体受付開始 総合司会 石井
- 9:20 一般受付開始
「フォーラム資料集22」配布
展示パネルやブース見学と交流
- 9:50 ■ 柿生の山伏 高橋昂希 先導
岡田実副区長 堂前雅史代表 齊藤誠館長
- アルプホルン演奏 新井ファミリー
- 第17回わたしのまちのホッと風景写真展
今編・昔編 入賞発表 表彰式
- 10:10 ■ 挨拶 麻生市民館館長 齊藤誠
環境局企画課から 高見澤俊文
緑政部協働推進課から 坂祥士郎
- 10:20 ■ 基調のお話「足もとの自然と環境教育」
堂前雅史 和光大学教授
(里山フォーラム in 麻生代表)
- 来賓挨拶 麻生区区長 三瓶清美
- 10:55 ■ 展示団体によるトークリレー
「環境を保全し次世代につなぐ」
- 11:55 閉会 地場産野菜紹介



法螺貝とアルプホルンが響き渡ります。



三瓶区長は、情報共有し横展開する有意義なフォーラムである。里山をいかに守り育て繋いでいくかなどと挨拶されました。



堂前先生は環境団体の環境教育への参加は地域への教育支援になり、次世代への継承に繋がり、若い親世代との多世代交流になり、そして市民による学校教育の補完になると話されました。

事例：
岡上小学校 丸山（岡上丸山特別緑地保全地区）



D. ソベル(1949-)「足もとの自然から始めよう」

- ・子どもをエコフォビア（自然恐怖症）にしない方法
- ・4~7歳「共感」ステップ(生きものとなかまになる)
- ・8~11歳「探検」ステップ(川に沿って探検)
- ・12~15歳「社会活動」ステップ(秘密基地を作る)
- ・年齢はおおよそで重なりも個人差もある

学校教育と市民による環境教育の補完

- ・学校
 - ・教員が交替する
 - ・教科カリキュラムの制約
 - ・学習進度との調整
- ・市民団体
 - ・メンバーが継続
 - ・カリキュラムの制約がなく、好きになることを優先できる
 - ・探検、採集の要素を導入しやすい
 - ・「好きな場所」「特別な場所」を提供しやすい



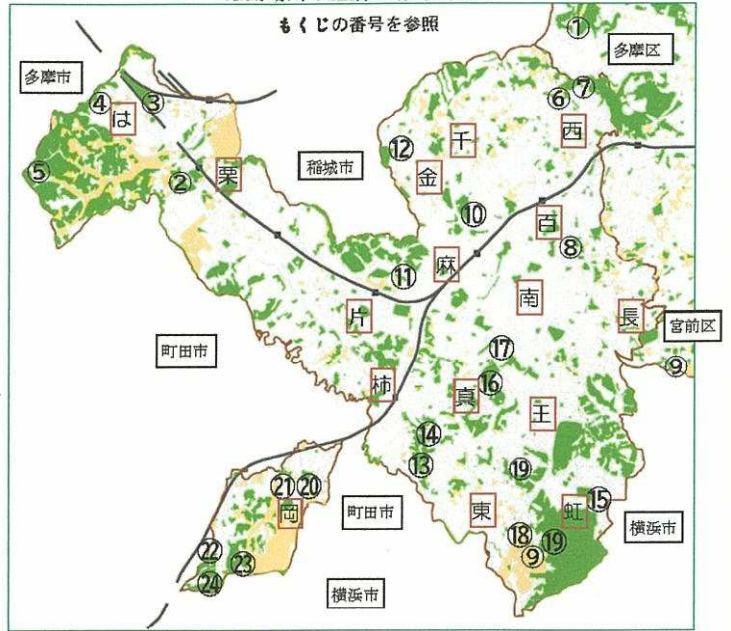
齊藤館長は里山は麻生区の宝であると話されました。高見澤さんは生物多様性の取組について、坂さんは多摩丘陵の緑が守られながらあることに感謝し、次世代につなぐことや緑化フェアについて話されました。

活動紹介のパネル展示

区役所ロビーに3月11日～3月17日まで事前展示を行い、18日は大会議室に展示しました。多様な視点の多様な展示です。見応え読み応えがありました。(一部を紹介)



麻生区の緑のマップに
活動場所や施設の場所を記入
もくじの番号を参照



トークリレー

ひとまとまりの自然や文化がある流域ごとの発表です。『フォーラム資料集 22』を活かしながら、20団体がその内容を短時間に見事に集約させて発表しました。(下段写真は左から発表順)



〇は麻生区内の川崎市立小学校の位置です。
 〇はるひ野小 〇栗木合小 〇円平小 〇榑生小 〇岡上小
 〇柿生小 〇辻ヶ丘小 〇禪寺中央小 〇福寿寺小
 〇榑生小 〇金程小 〇田代ヶ丘小
 〇西田小 〇目合丘小 〇目合丘小 〇国沢小
 別冊の『フォーラム資料集 小学校の紹介』参照

『フォーラム資料集 22』(団体・施設 54 頁、麻生区内小学校 33 頁)の内容は麻生区役所ホームページ里山フォーラムにもアップしています。



はるひ野里山
小学校



水辺のある里
山を守る会



多摩美みどりの
会



麻生多摩美の
森の会



高石みどりの会



はぐるま稗原農園



麻生プレーパ
ークを創る会



森もりクラブ



柿生中学校区地域教育会議
柿生小学校区計画委員会



柿生の里クラブ



まちはミ
ュージアム-遊歩道ファンクラブ



花と市民参加
の会"コスモス"



があでん・
ららら



早野聖地公園里
山ボランティア



和光大学・
かわ道楽



NPO かわさき
自然と共生の会



和光大学地域連
携研究センター



麻生区クールア
ース推進委員会



かわさきかえる
プロジェクト



麻生ヤマユリ
植栽普及会

あさお 里山こどもクラブ

こどもたちが育つ足元の麻生の里地里山の恵みや不思議を
探検・発見、そして体験するプログラム。
耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、
自分の頭で考えましょう。
「不思議」がむくむく湧いてきたら
調べてみよう、聞いてみよう！

第1回 10月16日(日曜) 自然は、友だち 秋の虫・草や木の実を探そう

・王禅寺ふるさと公園(市制60周年記念総合公園) ・講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)

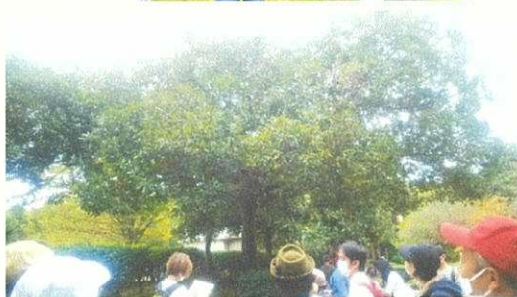
もうすぐ市制100周年を迎える川崎市の60周年を記念して市民が関わって創られてきた公園。年月が経ち樹々も風格が出てきました。どんぐりが7種類も探せます。拾ってみよう！子どもたちは虫も探します。(シラカシ、スダジイ、コナラ、マテバシイ、クリ、クヌギ、アラカシ)



セミの産卵の跡



「知るって楽しい」これから変わるかも」とママの声



第2回 10月30日(日曜) 地形と湧き水そして生きものたち

・黒川よこみね緑地 ・講師 窪田迅郎(水辺のある里山を守る会)

はるひ野駅から徒歩5分の近さにある緑地です。緑地の山を登ったり降りたりしていると湧水がある地形を感じてきます。池や流れのある広場に出て生き物探しです。トンボ バッタ チョウチョ 木の実・草の実見つけたかな？(2枚のチェックリストがあって大人は助かりました)



第3回 11月12日(土曜) 五感で発見 里山の自然

(特別講座) ・長池公園(八王子市) ・講師 小林健人(長池公園副園長)



里山文化の継承と創造を大事にしている長池公園は20haもの広さ。小林さんは人間が人間らしく健康に生きていくために公園は必要と話す。12日のテーマは「きれい！気持ちいい！」を発見することでした。子どもたちは思い思いに探し、見つけて楽しんでいました。



第4回 11月27日(日曜) 里山を楽しむ 作業&収穫祭

・柿生の里特別緑地保全地区 ・講師 柿生の里クラブメンバー



前日のぐずついた天気は27日にはこの上ない快晴となり、柿生駅からおっ越し山へ。秋から冬への自然の変化を感じ取りながら柿生の里に到着。山伏が待っていてびっくり。法螺貝にも触らせてもらって満足。のこぎり体験は皆ができました！早野の炭で焼く遊ぼうパンは楽しい。賞状も全員に。皆勤賞はふるさとナチュラリスト証。みんなの笑顔でスタッフ一同も安堵しました。



里地里山ナチュラリスト養成講座

★里地里山★を 知って・学んで・動こう！ あしたへ

春を待つ樹々を観察しよう

樹々は冬から春へどんな準備をしているのかな？
新百合ヶ丘の公園・緑地・緑道を巡りながら
思いがけない自然を知って、その不思議に出会いましょう。

2月18日(土曜日)
午後1時30分～3時30分

講師 高柳芳恵
(ナチュラリスト)



春が近づくと
葉っぱや花は
どこから出てくるの？
【冬芽】

冬の顔はどんな顔？
いろいろな顔がある！
【葉痕】

● 集 合 新百合ヶ丘駅改札前 解散 弘法松公園(予定) コース予定は参加要
● 対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。お子さん、学生さんもどうぞ。

新百合ヶ丘駅周辺は昭和50年代に開発が進みましたが、周囲には公園・緑地が配され地名と歴史を有する場所となりました。踏査コース：新百合ヶ丘駅-陸橋-マンション脇緑道-上麻生山口公園-山口白山公園-こやのさ緑道-万福寺檜山公園-弘法松公園。

高柳芳恵さんからは1本1本の木々や草の深い言葉が語られます。自然の不思議に出会い、なぜ？と問いが生まれてきます。「人類より太古からの植物の知恵はすごい」と参加者の声。これらの地の自然が健やかに再生されていくことを願う一日でもありました。



竹を間伐し行燈を作る

孟宗竹の間伐を各自ができる所で体験し、その切った竹で行燈作りにチャレンジしてみましょう。

● 第2回その1 竹の間伐体験

2月25日(土曜日)
午後1時30分～3時30分
協力 川崎市公園緑地協会
柿生の里クラブ



● 第2回その2 竹行燈作りにチャレンジ

3月4日(土曜日)
午後1時30分～3時30分
講師 黒川竹行燈の会(野島保代表)



黒川竹行燈の会の方の作品

● 対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。
※但しその1-その2両方に参加できる方に限ります。

はびこり密林化する孟宗竹は困難な問題ですが、黒川竹行燈の会の方々が竹林整備をしつつ竹行燈を制作しています。その教をこうべく先ずは市公園緑地協会の方々から竹の安全な切り方を丁寧にご指導してもらい、参加者全員が竹を切ることができました。そしていよいよ竹行燈の会の方々のマンツーマン指導のもと11個の竹行燈ができました。



金程・向原の 里山の変遷をたどる

この地の里山は住宅地へと大きく変貌しましたが、現在まで残されてある農村の暮らしの跡かたを巡りながら、森や林の変遷やナラ枯れなどの課題を考えます。

3月11日(土曜日)
午後1時30分～3時30分

お話し 海野芳彦(ランドスケープアーキテクト・森もりクラブ代表)



● 集 合 新百合ヶ丘駅改札前 解散 現地(バス停など案内) コース予定は参加要
● 対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。



からむし講座

麻生区の地名が由来する植物 麻＝からむし(苧麻)を学ぶ講座です。毎年繊維がとりやすい6月から7月にかけて開催します。講座では縄文時代からの人と自然のかかわり-文化をつむぎ、次世代に伝えようと試みています。

からむしボランティア研修

7月10日(日曜)

麻生市民館 料理室 午後2時～4時
前日に早野で刈り取り、水に漬けておいたカラムシを使いました。

- カラムシはイラクサ科の植物
- 苧引きや糸づくりを体験し作品を作り、子どもたちの学習のお手伝いをするための研修です。



親子で楽しむ「からむし」ワークショップ

7月17日(日曜) 麻生市民館 料理室 午後2時～4時

- 野の草カラムシが糸になるなんてと不思議や驚きで作業に夢中になりました。
- 区名の由来なども映像で学びました。
- 3人で協力して糸づくり。紐もたくさんできました。何が出来たかな？

縄文の技術：編布(あんぎん)にもチャレンジ



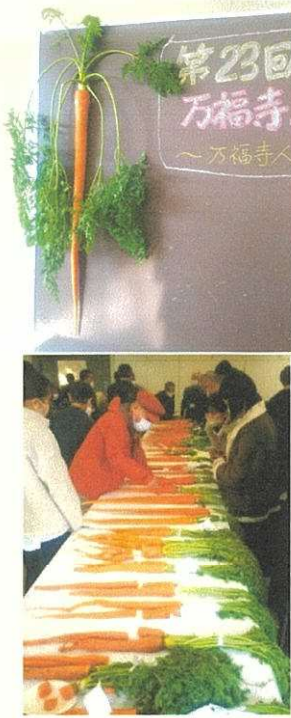
あさお区民まつりで紹介と展示

区制40周年を記念して、10月9日のあさお区民まつりの会場のひとつ21ホールホワイエで「からむしってなあに」を紹介し、今までの作品なども展示しました。



2011年の区民まつりでは子どもたちに葉を作ってもらいました。カラムシの葉っぱの緑と白を活かしメッセージを添えてカラムシの強い繊維をリボンにしました。その葉は麻生区ゆかりの方々の絵本と一緒に3.11の被害が生々しく残る気仙沼の浦島小学校へ持参して来ました。





6月8日(水曜)「種」と資料の配布をしてから半年あまり、はたして小さな種は長い人参に成長したでしょうか。12月17日、18日とそれぞれの物語りを持った人参が集まりました。18日(日曜)には33組も並びました。「第23回万福寺人参品評会-私の万福寺人参を語り合う会-」の開催(万福寺人参友の会共催)です。長さ28cmから102cmの人参が並ぶ姿は圧巻で、審査委員の方々も大変だったと話しておりました。なお今年度もこの人参の特徴である甘みとこく(味覚賞)は審査できませんでしたが、審査委員(成松次郎 長瀬和徳 岩本陽児 三瓶清美 齊藤誠)による厳正な審査のもと、以下の賞が決まりました。
 *最優秀賞〔麻生区長賞〕鈴木章夫(古沢上の畑) *準優秀賞 タイガーファーム:能勢のり子(黒川東) *姿〈ルックス〉賞 高橋八重子(早野)
 *色彩賞 千代ヶ丘小学校5年2組(学校脇) *香り賞 日下部光代(古沢協働菜園) *努力賞 金程小学校2年(校内) *努力賞 明治大学 佐藤来夢(生田校舎農場) *ユニーク賞 明治大学 宮本奈々子(生田校舎農場)

審査中の別室での語り合う会は大いに話が弾みました。千代ヶ丘小学校5年生、金程小学校校長先生、千代ヶ丘小学校校長先生、明治大学生、和光大学生、普段はIT関連の仕事をしている30代40代の方々の視点の違った話も面白かつ栽培者ならではの努力を重ねているからこそその重い言葉が続きました。また最優秀賞の鈴木章夫さんの葉っぱ付き人参3本を区役所ロビーに展示しました。



感謝 講座やイベントへの参加者の皆様、講師を務めてくれた先生方、興味を持って足を止められた方々、支えてくれた担当職員はじめ市民館職員の皆様、団体や施設の皆様、力を合わせてくれたボランティアスタッフ、幹事の方々に深く御礼申し上げます。



区制40周年を記念して写真展 第1回-第16回を集約展示



第17回の昔編を見る子どもたち



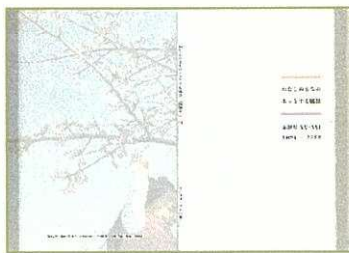
フォーラムの受付の様子



地場産野菜スタンバイ、クッキーも入っていたらラッキー♡



写真展 掲示!



写真記録集 表紙



区役所ロビーでの展示



竹行燈の展示



トークリレーの進行

コロナの感染状況の合間を縫いながら3月を迎えました。身に付いた対策で健康に留意しましょう。混沌とする世界、戦争を止め、戦争に至る社会にしないようにと願います。

ボランティアスタッフ、企画運営委員募集中です。下記へご連絡ください。

主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)

里山フォーラム E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070-6426-6123 麻生市民館 TEL 044-951-1300